

平成30年度 前期

「学生による授業評価」報告書

倉敷市立短期大学 自己評価委員会

自己点検評価専門部会

1 はじめに

本報告書は、平成30年度前期「学生による授業評価」および「教員の自己点検レポート」の結果をまとめたものである。今回も、非常勤講師を含めた全教員の授業を対象に授業評価を行った。

授業評価の実施に際しては専攻科やゼミ等は少人数クラスで行っており、授業評価の在り方については、平成24年度より受講者2名以下（受講者なし、受講者1名、受講者2名）の場合は、提出は極力求めるが強制はしないという方針で調査用紙の回収を実施している。教員と学生とがほぼマンツーマンで授業を行うという特殊な形態では、学生個人が特定されやすく、学生に不利益を生じてはならないことや、他の授業と同様の授業評価が適切かどうかを問う声が委員会に寄せられたためである。

調査票の回収については、学生が回収しているものの、ナンバリングについては教員が行っており、学生の匿名性が担保されにくい状況である。学生が評価しやすい環境を整えるためには、回収方法については改善策を検討したい。

今回の授業自己点検レポートは、専任教員が担当している全教科目と非常勤講師が担当する一部の教科目を掲載している。自己点検をすることで、日頃の授業内容を学生がどのように評価しているかを明らかにし、今後の授業内容の改善に努めたい。

2 全体の概要

1 学生による授業評価

1-1 はじめに

本学は、平成20年度前期から、非常勤講師を含む全教員の全授業を対象にした、学生による授業評価に着手した（それまでは常勤教員が自分の授業の一部を選んで実施していた）。この評価は、個々の授業内容や方法の改善を通して、大学全体の教育力を高めることを目的として、前後期の授業終了時に実施されている。

1-2 本授業評価の目的は、(1)教育内容や方法の改善、(2)成果や課題の蓄積、(3)学生をはじめとするステークホルダーに向けての説明責任、(4)学生の学修態度の反省と学習意欲の向上を図ることである。

授業評価票（別紙1）は、授業に対する学生自身の自己評価として、出席状況や学修に対する意欲、課外学修の状況などを自己評価するセクションと、授業の内容や授業の方法について学生が評価するセクションとの2部構成になっている。また、授業の特性が評価に反映されるように、教員が任意に設問を追加することもできる。さらに、自由記述欄も設けてあり、学生は、授業に関する意見や感想を自由に記載してよいことになっている。

2 集計と結果のフィードバック

集計結果は、全体のデータをまとめるとともに、個々の授業別結果（サンプルは別紙2）を授業担当教員にもどし、教員による自己点検レポート作成の基礎資料としている。各授業の各項目について、大学全体の5段階の平均値が示されており、自身の評価と全体の評価を比較しやすいように工夫されている。

3 教員による「自己点検レポート」の作成

常勤・非常勤を問わず、本学の全教員は、学生による授業評価結果をもとに、全ての授業についての「自己点検レポート」を提出（サンプルは別紙3）する。自己点検レポートは、「学生に対する真摯な対応」と「学生のアンケート結果を授業の改善や教育力向上に役立てること」を目的に、教員が自らの授業をふり返り、気づきや改善点などを400字程度のレポー

トにて提出してもらう制度である。具体的には、学生による授業評価結果を踏まえ、以下の点について自己点検することになっている。

- 1 前回からの改善点（前回調査時の課題がどのような方法で、どの程度改善されたか記入してください。）
- 2 授業評価結果についての分析（「どんな問題点を見出し、その原因をどのように捉えたか」）
- 3 「上記の分析を踏まえた今後の授業改善に向けての具体的取り組み
- 4 授業改善に向けて必要だと思われる教育環境・条件整備上の課題
- 5 今回の授業評価の実施方法等に関する意見

4 公開

学生による授業評価結果と教員の自己点検レポートについては、電子データと印刷物として学内で保管されており、自由に閲覧が可能である。また、個々の授業評価結果の詳細を除く、大学全体の評価結果については、大学の WEB で公開している。

3 全体の集計結果

平成 30 年前期学生による授業評価 講評

平成 30 年度前期の学生による授業評価結果の概要と講評を行い、授業改善のための基礎資料とする。

構成は、下記の通りである。

- 1 評価結果の概要と、特徴的であると考えられるポイントを指摘した。
- 2 評価結果の全体を表にまとめた。
- 3 設問ごとに各選択肢の選択率を円グラフで示した。

概要は、下記の通りである。

平成 30 年度前期の授業評価の結果としては、学生自身の自己評価である出席や意欲的、予習復習の中では、予習復習が「積極的に取り組んでいる」または、「取り組んでいる」の評価をつけている学生が 8 割である。平成 31 年度のシラバスから準備学習の具体的内容を明記するため、この点については今後の取り組みの効果を検証したい。

教員の取り組みとしては、すべての項目について 8 割以上の学生が満足している。しかし、一番高い満足度を示す選択肢 1 のみを見ると、理解度の満足度が 6 割となる。授業について、学生の理解度を担保することは、それぞれの科において、専門的な知識を身につけることは最重要課題であるため、今後の検討課題としたい。

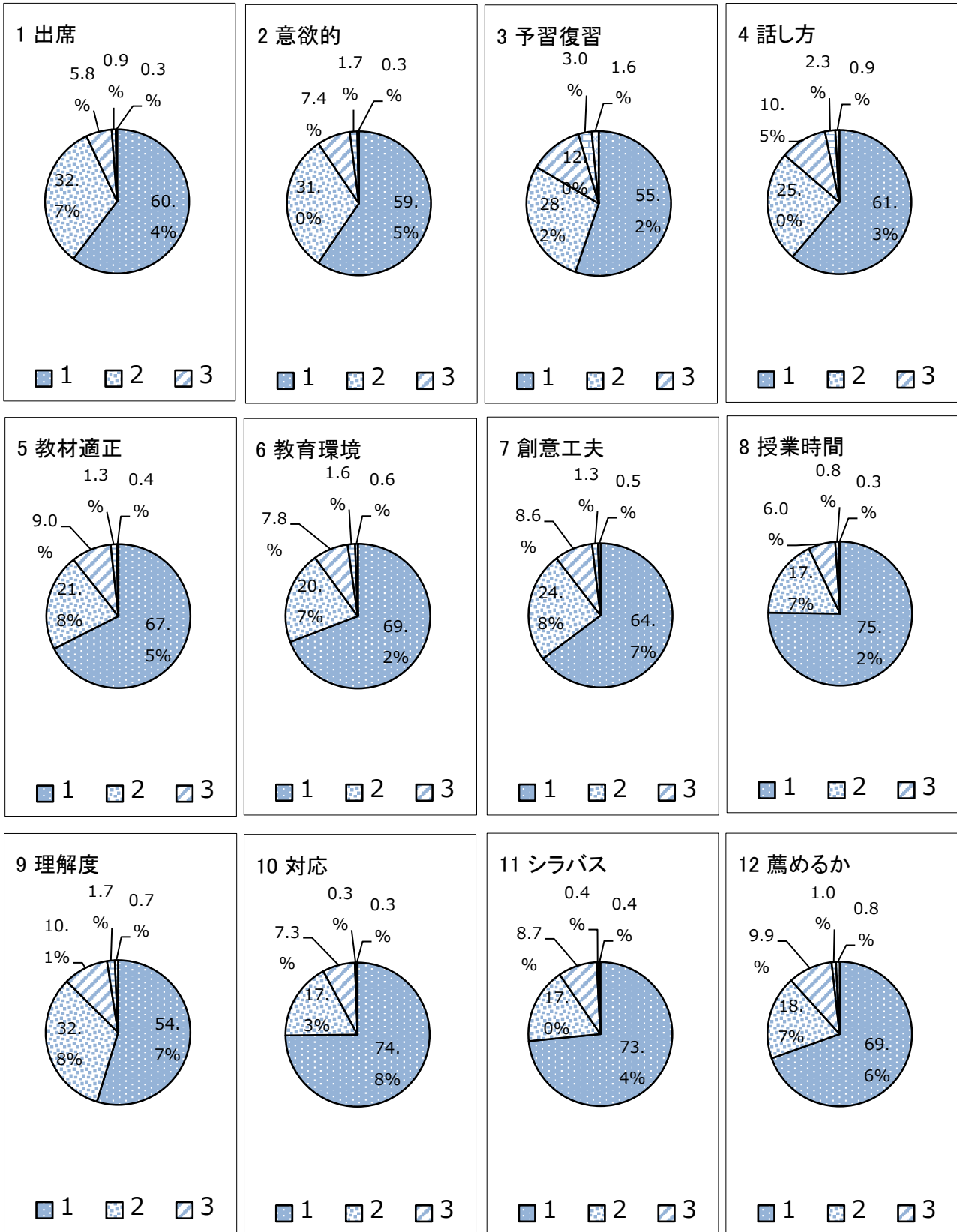
2 評価結果全体のまとめ（評価は 5 段階で行なわれ、1 が最も高く 5 が最も低い。）

まとめ

調査票件数： 2913

選択肢	1 出席	2 意欲的	3 予習復習	4 話し方	5 教材適正	6 教育環境	7 創意工夫	8 授業時間	9 理解度	10 対応	11 シラバス	12 薦めるか	合計
1	1758	1734	1609	1785	1967	2016	1886	2190	1594	2178	2137	2013	22867
2	951	903	822	729	635	604	722	514	955	504	495	542	8376
3	168	217	350	305	261	227	250	176	293	212	254	287	3000
4	26	49	86	68	39	48	39	24	50	8	13	28	478
5	9	10	46	26	11	18	16	8	21	9	11	24	209
合計	2912	2913	2913	2913	2913	2913	2913	2912	2913	2911	2910	2894	34930
平均値	1.48	1.52	1.67	1.57	1.45	1.44	1.48	1.33	1.61	1.34	1.37	1.45	1.48

3 設問ごとの選択肢の選択率（1点が最高評価、3点が中間評価、5点が最低評価）



4 対象となる授業一覧

平成 30 年度前期

科目番号	講義名	担当教員	学科
保育学科			
1002	国語表現	梅本	保育・服飾美術
1003	日本国憲法	矢吹	保育・服飾美術
1007	経営学	新井	保育・服飾美術
1008	キャリアデザイン	佐藤	保育・服飾美術
1009	地域基礎演習	唐澤	保育・服飾美術
1010	情報機器の操作 I	大原	保育
1012	英語 I (コミュニケーション)	鳥越	保育
1013	英語 I (コミュニケーション)	鳥越	服飾美術
1016	英語Ⅲ	池田	保育・服飾美術
1020	保育原理 I	土井	保育
1022	教育原理	土井	保育
1023	児童家庭福祉	安形	保育
1024	社会福祉	安形	保育
1025	相談援助	安形	保育
1027	社会的養護 II	眞次	保育
1028	発達心理学 I	門田	保育
1036	保育内容総論	木戸	保育
1039	保育内容の研究・人間関係	木戸	保育
1040	保育内容の研究・環境	大江	保育
1041	保育内容の研究・言葉	溝手	保育
1042	保育内容の研究・表現 I	別府	保育
1043	保育内容の研究・表現 II (1)	金山	保育
1046	保育内容の研究・表現Ⅳ	溝手	保育
1047	乳児保育概論	平岡	保育

1048	乳児保育演習	山内	保育
1049	社会的養護内容	安形	保育
1050	障がい児保育	眞次	保育
1068	音楽Ⅱ(2)	三川	保育
1070	図画工作(1)	金山	保育
1072	幼児体育(1)	及川	保育
1075	保育実習Ⅰ(1)	木戸・大江	保育
1077	保育実習Ⅱ	木戸・大江	保育
1078	保育実習Ⅲ	安形・平岡	保育
1079	保育実習法Ⅰ	安形・木戸・平岡	保育
1080	保育実習法Ⅱ・Ⅲ	木戸・脇本・安形・平岡	保育
1082	保育方法技術論	瀧澤	保育
1085	教育実習法	土井	保育
服飾美術学科			
2001	数学	大原	服飾美術・保育
2002	情報処理演習Ⅰ	大原	服飾美術
2006	フランス語Ⅰ	石井	服飾美術
2012	服飾文化史	宇野	服飾美術
2013	服飾造形論	太田	服飾美術
2014	服飾造形実習Ⅰ 福村	福村	服飾美術
2015	服飾造形実習Ⅰ 太田	太田	服飾美術
2021	パターンメイキング(CAD)Ⅱ 福村	福村	服飾美術
2022	パターンメイキング(CAD)Ⅱ 太田	太田	服飾美術
2023	アパレル企業実習	服美全教員	服飾美術
2025	服飾管理学実験	佐藤・道明	服飾美術
2026	染色加工学	網屋	服飾美術
2027	服飾繊維学	道明	服飾美術
2028	服飾繊維学実験	道明	服飾美術
2031	服飾人間環境学	佐藤	服飾美術
2033	服飾人間工学	佐藤	服飾美術

2035	アパレル消費科学	網屋	服飾美術
2036	経営学	新井	服飾美術
2039	服飾企画論	新井	服飾美術
2041	消費者調査法	大原・新井・唐澤	服飾美術
2044	まちづくり論	唐澤	服飾美術
2047	服飾デザイン演習	趙	服飾美術
2048	モードデッサン I	趙	服飾美術
2050	テキスタイルデザイン I	田中	服飾美術
2051	テキスタイルデザイン II	田中	服飾美術
2052	CG 基礎演習	竹島	服飾美術
2053	ファッションクリエイション論	上村	服飾美術
2057	カラーコーディネート論	久保	服飾美術
2058	染織 I	田中	服飾美術
2061	ビジュアルデザイン I	ウォルトン	服飾美術
2062	ビジュアルデザイン II	竹島	服飾美術
2064	ライフスタイルデザイン演習	上村	服飾美術
2065	基礎デッサン	野村	服飾美術
2066	人体デッサン	野村	服飾美術
2068	表現演習 II	松内	服飾美術
2070	基礎デザイン	松内	服飾美術
保育臨床専攻			
3000	スポーツ 1	及川	保育臨床専攻
3003	国語表現法演習	梅本	保育臨床専攻・服飾美術専攻
3005	教育行政論	土井	保育臨床専攻
3007	発達心理学特論	門田	保育臨床専攻
3012	児童文化学特論 2	溝手	保育臨床専攻
3016	幼児教育の社会学	土井	保育臨床専攻
3018	児童福祉特論	安形	保育臨床専攻
3019	幼児教育課程特論	木戸	保育臨床専攻
3020	学童保育論	秋川	保育臨床専攻

3029	保育内容特別演習（造形表現 1）	金山	保育臨床専攻
3030	保育内容特別演習（造形表現 2）	金山	保育臨床専攻
3058	LD・ADHD 教育特論	眞次	保育臨床専攻
3060	乳児保育特論 1	平岡	保育臨床専攻
3062	特別支援教育総論	眞次	保育臨床専攻
服飾美術専攻			
4000	品質管理	網屋	服飾美術専攻
4003	ビジュアルデザイン論	片山	服飾美術専攻
4005	ドローイング I	野村	服飾美術専攻
4008	立体制作 II	松内	服飾美術専攻・保 育臨床専攻
4009	造形表現論	松内	服飾美術専攻・保 育臨床専攻
4010	造形表現	松内	服飾美術専攻
4011	情報処理論	大原・唐澤	服飾美術専攻・保 育臨床専攻
4018	ファッションアート演習 I	趙	服飾美術専攻
4019	ファッションアート演習 II	趙	服飾美術専攻
4022	服飾造形実技 II	太田	服飾美術専攻
4027	テキスタイルデザイン演習 I	田中	服飾美術専攻
4028	テキスタイルデザイン演習 II	田中	服飾美術専攻
4030	被服心理学	福村	服飾美術専攻
4039	地域活性化論	唐澤	服飾美術専攻
4041	ライフプロダクト論	上村	服飾美術専攻
4043	ライフプロダクト演習 II	上村	服飾美術専攻
4045	広告論	新井	服飾美術専攻
4047	アパレル経営論	新井	服飾美術専攻
4048	アパレル産業研修	服美全教員	服飾美術専攻